
昔、愛したあなたを殺す。 [連載バージョン]

紅華

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

昔、愛したあなたを殺す。 「連載バージョン」

【ZPDF】

Z3000Y

【作者名】

紅華

【あらすじ】

好きすぎて、何も言えなかつた彼女の仕返し。

書はあなたに近かったの。 (前書き)

短編バージョンも書きましたが、
どうもできがいまいになってしましました。・・(→、)

ですが、もしよろしければ、読んであげてください。

昔はあなたに近かったのに。

「ねえ？」

「どういっての？」

私は、あなたにやう聞にかけた。

けれども、帰つて「ない」答へ。

最後に「じゃあ、行つてへる」とだけ囁つあなた。

それが、とても切なく感じて。

なんだ、こんなことになってしまったのだろう。

いつもいつも、私の恋愛は冷めてしまった「一ヒー」のよう。

冷たくてほろ苦い、悲しい味で。

それは、誰も飲もうとは思いもしない、ただの邪魔者。

そんな私はあなたに惹かれてしまつて。

恋を恋だと知つた時、氣付けば私はあなたを好きだつた。

何をしていても、頭に浮かぶのはあなたの存在で。

一人でいても、寂しくなんてなかつた。

悲しく感じたこともなかつた。 生きてきた中で、一度たりとも。

けれど、あなたは変わつてしまつた。

昔の私が知つてゐるあなたではなくなつてしまつた。

なんで変わつてしまつたの？

昔は、あんなに近くで感じられたのに。

なんでなの？

私の“好き”を返してよ。

心が心だと気が付いた時、私は心を失っていた。

何もかもを私から奪つていったあなたは、一体どこに向かっているの？

悲しい、二人の恋人たちよ。

ひとつだけ変わってしまったのだね~。

ひとつだけ、両想いのままだつて信じた。

あなたが不倫してるかな?って思った時も。

そして、つっここの前までも、あなただけを信じていたのに。

あなたは私を裏切ったの。

それは、絶対的な事実で
。

苦しいけれど、私達は終わりだわ。

だから、終焉を私の手で迎えることにしたわ。

ゞゞの誰かもわからない香水の匂いを携えたあなたに会つのは、
もつ飽き飽きなの。

だから、私はあなたを殺すって決めたの。

ああ、どうか神様よ、彼を殺す勇気を、私に下さい。

惨めでちっぽけな私だけれど、それくらいの勇気はくれるでしょう？

「少し出かけてくる」

あなたは、確かにそう言ったわよね？

私の心中では、どんな気持ちが蠢いてるかも考えずに。

あなたはつくづく悲しい人だわ。

きっと、誰もがそう思っているわ。

昔出会った人は、私のことを言つかもしれないけれど

。

けれど、あなたを殺すことができるなら、そんなことなどうでもいいの。

そうて、私は手に包丁を持つの。

私のあなたを殺すために。

昔の日々よ、
心うか戻りてきてよ。

いくつもの山を乗り越えてきた私。

けれど、その先にあるのは深い深い谷で。

もう、抜け出すことはできないの。

だから、最後くらいは良い夢見をせてよ。

ありがとうね、愛した人よ。

ありがとうね、恋した人よ。

愛し合つたことを、永遠に分かつてしまつことができない。

これで、やつと、一緒になることができる。

ああ、あなたと一緒に逝ける嬉しさ。

私はあなたを刺すたびに、安堵感すら覚えててしまう。

決して、止むことのない悲しき遠吠え。

今更後悔しても遅いわ。

だつて、自業自得ですもの。

あなたが気にすることはないわ。

私は何度も何度も包丁を刺して、あなたを殺しに殺す。
これは私の復讐だから、気が収まるひととは絶対にない。

あなたが今までに「パチンコ」使つてきたお金は取り戻せないけど、
これからはお金を使う必要はないわ。

だって、あなたが見るのは、パチンコの玉なんかじゃないもの。

この私だけですのも。

だから、『狂ってる』って言われたって構わない。

あなたを握りしめて殺すことができるなら。

ありがと、幸せな日々よ。

ありがと、これまでの日々よ。

昔の日々よ、必ず戻りたきよ。（後書き）

変な作品にもほどがあつますよね（）・（）・（）
久々の作品だつていつのに -（）・（）・（）A）

しかしながら、読んでくださつた方、ありがとうございます。

もしよろしければ、感想やポイント評価など、よろしくお願ひします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3000y/>

昔、愛したあなたを殺す。 [連載バージョン]

2011年11月13日07時00分発行